



NICUのお話

NICUは赤ちゃん (Neonatal) の集中治療室 (Intensive Care Unit) の略語です。生まれた赤ちゃんがお家に帰るまでに、問題が生じた時に入院する、新生児専用のお部



生まれた赤ちゃんがNICUに入院することは、ほとんどの方が想定外です。心配と不安でなかなか受け入れられないでしょうが、私たち医療スタッフは、赤ちゃんの管理をすると同時にパパ・ママの気持ちもサポートしながら、まだ見ぬ我が家に笑顔で帰っていくことを応援し、見守っていくことが役目だと思っています。逆に、出産を迎えるにあたってNICUがあるから万が一の時は安心だと思えるように頑張っています。

どんな赤ちゃんが入院するの？

- ① まだママのお腹の中にいたいのに何らかの原因で大きくならない場合や、予定より早く生まれた場合 (低出生体重児、早産児)
- ② 予定通り生まれたけれど問題が生じた場合 (疾患がある児・外界環境に適応できない児)
- ③ 院外出生で紹介搬送される場合 (院外出生児)



当院では在胎30週以上、出生体重1,000g以上の児を基準に対応しています。毎週産科の先生と情報交換を行い、母体・胎児の状況、出産時期の計画を話し合います。②のケースは予測がつかないため、24時間体制で対応しています。③は当院で治療可能な赤ちゃんは出来るだけ対応するようにしています。問題ない赤ちゃんも、お家に帰るまで看護師が観察を行い、小児科医の診察を2回(生まれた時と退院する前の日)受けています。

赤ちゃんにどんなことをするの？

早産で生まれた小さい赤ちゃんの場合には、なるべくおなかの中の環境を再現してあげることがポイントになります。赤ちゃんは、おなかの中では胎盤へその緒を通じて生活しているのですが、生まれてきた以上は呼吸をしなければいけませんので、保育器の中の温度や湿度を子宮環境と同じように保ちます。呼吸する力が弱く、酸素をとり入れにくい場合には、人工呼吸器で呼吸をサポートします。自分の力で母乳を飲めない場合には、チューブで栄養を与えることもあります。早産児の場合には、こうした人工的な手助けをしながら、成長を待ちます。

早産ではないけれども、仮死で生まれたり、羊水を吸い込んでしまったり、外の環境になかなか適応できないケースも多々あります。疾患ごとに治療は変わりますが、状態把握のため心拍呼吸モニターをつけます。だいたいの赤ちゃんには点滴・採血、レントゲン、超音波検査などを行います。採血もたくさん採ると貧血になってしまいますので、ほんの数滴(微量)で行い、数滴の血液で検査が出来るよう検査課にも協力してもらっています。なにも訴えられない赤ちゃんだから、全身くまなく超音波検査で頭、心臓、腎臓など各臓器をチェックします。安定したら、赤ちゃんを直接胸に抱っこするカンガルーケアなどを積極的に取り入れ、母(父)児間の絆づくりをしています。



必ずしもNICUが各病院に存在するものではなく、NICUの規模で対応できる対象・疾患も変わるため、各地域にある基幹病院(県東部では順天堂大学静岡病院)が中心となってネットワークを作り、横のつながりを強化し連携を強めています。当院も微力ではありますが、地域に貢献できるよう、医療のレベルアップを日々行っています。



私たちスタッフ一同がNICUを支えています。

東京電力計画停電に関するお知らせ

計画停電により、一部診療制限を行う場合があります。皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解をよろしくお願い致します。

聖隷沼津病院の片隅から…つぶやく検査技師③

「貧血のお話」

貧血とは「血液単位あたりの血色素量 (Hb) の減少」と定義されます。貧血になると動悸、息切れ、目眩、だるさを訴えます。しかし、貧血の症状の程度は貧血の程度と必ずしも並行しないことがあり、慢性に進行した患者では7g/dl程度の貧血でも自覚症状を感じない人がいる一方、急性の出血や溶血などで急速にHb値が下がったときには10g/dlでも症状は激しく、安静を要する場合があります。

貧血の原因は大別して3つに分かれます。

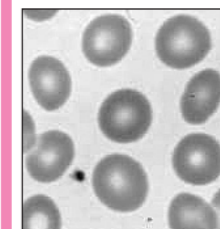
- ① 赤血球産生の低下 (骨髄疾患、慢性疾患)
 - <代表疾患>再生不良性貧血、鉄欠乏性貧血、悪性貧血、サラセミアetc
- ② 赤血球の破壊の亢進 (溶血)
 - <代表疾患>発作性夜間血色素尿症、自己免疫性溶血性貧血、播種性血管内凝固 (DIC) etc
- ③ 赤血球の喪失 (出血)
 - <代表疾患>外傷等による失血

★ 代表疾患の顕微鏡的赤血球形態

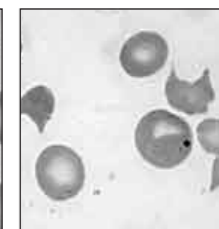
- ・ 標的赤血球 (肝硬変etc)
 - ・ 破碎赤血球 (播種性血管内凝固etc)
 - ・ 正常な赤血球
- *3枚写真あります

貧血になると、このように赤血球に形態異常が見られることがあります。これによって貧血を引き起こしている主疾患の予測をすることができます。貧血と言っても、原因は様々ですので治療方法も様々です。赤血球形態をはじめ他の症状や検査結果から診断された、適切な治療が貧血改善には必要であると言えます。貧血かな?と思ったら、まずは診察を受けてみましょう。

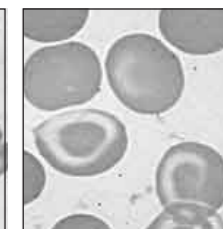
(文責:検査課 瀬尾 真由)



(正常な赤血球)



(破碎赤血球)



(標的赤血球)